

-五重塔周辺-

データ収集：宇宙技術開発株式会社

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前号から人工衛星 QuickBird から見た「世界遺産シリーズ」を企画しました。本号では、法隆寺周辺の画像を紹介します。聖徳太子が建立した法隆寺は、飛鳥時代からの姿を今にとどめる世界最古の木造建築物として広く知られています。1993年12月に日本に初めて世界文化遺産に登録されました。法隆寺は、五重塔を含む西院伽藍（下図左側）と、夢殿を中心とした東院伽藍（下図右側）に分かれています。建物名称の赤色枠は「国宝」、青色枠は「重要文化財」です。「金堂、五重塔、上御殿、太子殿、伝法殿」等の位置関係、「夢殿」の屋根が八角形であること等、様々な視点から画像を判読して見て下さい。

